

平成 30 年 4 月 6 日

墨田区の人口が 27 万人を突破！

本日、4月6日（金）に墨田区の人口が、27万人を達成したことが確認された。昨日時点で確認された区の人口は27万52人。27万人を達成したことが確認されたこの日、区役所に転入届を提出した渡辺哲平さんと渡辺晶さんは山本亨・墨田区長と記念撮影を行いました。

平成28年に策定した「墨田区基本計画」では、平成37年の計画人口を27万5千人と設定していますが、推計を上回る勢いで人口が増加しています。これを契機にさらに地域の力が高まり、魅力ある地域になればと考えています。

また、昨日4月4日（水）、区は独立行政法人住宅金融支援機構と「フラット35子育て支援型」に関する金利優遇の協定を締結したところです。今後も「暮らし続けたいまち」の実現に向け、安心して暮らせる住環境を整備していきます。



墨田区の人口変遷について

戦災に見舞われた昭和20年当時約7万7,000人だった墨田区の人口は、戦後の復興が進み、景気の回復を伴って再び増勢に転じ、昭和38年には32万6234人となり、戦後における本区の人口の最高を記録した。その後、人口の過密化に伴う生活環境の悪化や地価の高騰、事業所の移転等により減少に転じ、平成9年4月には21万9667人にまで減少した。その後は都心回帰などを背景に徐々に増加に転じており、4月5日、住民基本台帳人口が27万人となった。

27万人を達成した要因としては、近年の都心回帰の傾向や交通の利便性に加え、東京スカイツリー開業による住宅地としての魅力向上や、子育て支援施策等の取組が評価されたものと考えられる。

また、平成27年4月1日から平成30年4月1日の人口推移を年代別で見ると、50歳代と20歳代、さらに0～9歳の増加率が大きいほか、60歳代を除く全世代で人口が着実に伸びている。地域別では、両国・千歳・立川などの南部地区の伸びが大きい。また、北部地区においても向島・東墨田をはじめ、一部地区を除きほとんどの地区で人口が増加している。

山本亨・墨田区長のコメント

本区の人口が、27万人を突破したことを誠に喜ばしく、うれしく思います。人口の増加は、区が推進する様々な施策により、まちの魅力が高まったことを示すものです。人口が増える「まち」は、将来性にも期待して選ばれる「まち」であり、今後も本区にお住いの27万区民の行政ニーズに的確に対応し、『暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまち・すみだ』の実現に全力で取り組んでいきます。